

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE



賛育会で
働く留学生



REPORT

Vol. **35**
2023 SPRING

賛育会の留学生支援
介護福祉士として働く仲間を支援しています。
さんいく保育園：コロナ禍の1年を振り返って。
賛育会 新評議員ごあいさつ ～就任から1年半を振り返って～





特集
REPORT

賛育会の留学生支援 介護福祉士として働く仲間を支援しています。

賛育会は2017年から、将来、介護福祉士として母国で働くことを目的として日本で学ぶ留学生の学費や施設でのアルバイトの支援をしています。そんな賛育会で働く留学生を紹介します。



シン ネハさん
(ネパール:マイホーム新川)

自分が人の役にたつ仕事をしたいと介護の勉強をしたいと思います。利用者様と関わり、もっと興味が出てきました。

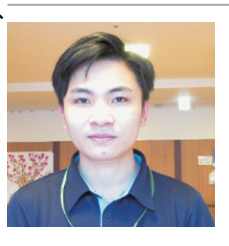


チン キさん
(中国:東京清風園)

利用者様の立場に立って関わることのできる介護福祉士になりたいと考えています。利用者様の笑顔を少しでも多く引き出せればと思います。

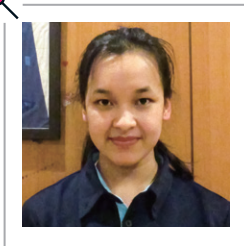
ヴェー ゴック カインさん
(ベトナム:東京清風園)

利用者様と家族のように一緒に暮らし、利用者様の日常をサポートできるようになることが私の目標です。



タマン ルパさん
(ネパール:東京清風園)

ネパールにいる時、老人ホームや身体が不自由な人達を見ました。その人達を助けて、お身体が不自由になったお年寄りにも人生を楽しんでいただきたいと思ったから介護福祉士を目指しました。



カク メイヨウさん
(中国:東京清風園)

これから仕事でもっと真面目に努力して、優秀な介護福祉士になります。また、日本語の勉強もしますし、日本の文化についてもっと知ります。よろしくお願いします。



ウ セイショウさん
(中国:東京清風園)

利用者様が明るく楽しく生き生きとした快適な生活を過ごせるよう、皆様が送ってきた人生を支えたいと思います。



受け入れ施設の職員の声



マイホーム新川 介護主任
川瀬歩美さん

マイホーム新川にはネパール出身のシン ネハさんという留学生がいます。彼女は昼間学校で福祉を学び、夕方や学校が休みの日には介護員として働いています。異国の地で言葉の壁もあるにもかかわらず、勉学にも仕事にも真面目で一生懸命な彼女の姿に、職員一同感銘と信頼を置いています。国は違えど、利用者様を想う気持ちは同じです。介護の現場で働きたいという留学生を今後もサポートしていきたいと思っています。



東京清風園グループホーム主任
中川真梨子さん

さんいくの家あづまでは今までに5人の留学生を受け入れて来ました。受け入れ当初はお互い戸惑う事もありましたが、夏祭りでは浴衣を着てもらったり、母の日にはカーネーションをプレゼントしたりと行事を通して日本の文化に触れてもらい、また、留学生も母国の料理を披露してくれたりし、お互いの文化に理解を深める事で、より良い関係が築けてきているように感じます。

さんいく保育園清澄白河・さんいく保育園有明 コロナ禍の1年間を振り返って。



さんいく保育園清澄白河

園長：福永 隆

さんいく保育園清澄白河の園長となって、ほぼ3年が経過しました。新型コロナと時を合わせて2020年4月に園長職を任せられたのは、神さまのご計画の内であったのでしょうか。毎朝、園児・職員の健康を祈ることで始まる日々の中、賛育会の保育園として保育職員も職域接種の枠組みに入れてもらい、他の保育園に先んじてワクチン接種ができたことは幸いでした。新型コロナ禍の様々な制限下にあって、子どもたちの保育をいかに工夫するかは大きな課題でした。密にならないよう幼児礼拝はクラス別に20人ずつで行うよう変更、それぞれの年齢に合わせてお話を組み立てることで、子どもたちが心穏やかに静かに話を聞ける機会となったのは嬉しい出来事でした。

保護者とのかかわり、地域とのかかわりが希薄にならないようzoomでモニター越しにコミュニケーションをとって交流機会を継続してきました。ようやく最近になって幼稚園や小学校を子どもたちが訪問して直接顔を合わせて交流ができるようになり、ホッとしています。

清澄白河：園児たちの様子



さんいく保育園有明

園長：石原 浩司

この一年間も、さんいく保育園有明には、子どもたちの元気な声と素敵な笑顔が溢れていました。一方で新型コロナの影響が大きく影を落とした年でもありました。園児や職員が次々と罹患した時期があり、体制を何とか維持しながら保育を継続したことや、行事は感染対策を講じながら可能な限り実施できるよう規模を縮小するなど、臨機応変に対応することが求められました。園児たちは、感染対策の中で常にマスクを着用した保育士と過ごし、保育士の素顔を見る機会はありませんでした。この状況が特に乳児(0歳～2歳)の言語の獲得に少なからず影響があるのではないかと保育職員は危機感を感じていました。そんな状況の中、2歳児クラスでは「透明マスク」を使用する試みを実施し、保育士の声を耳で聞くだけでなく、口元の動きを見てコミュニケーションが取れるようにして安心感や親近感の醸成に取り組みました。

今後も、専門職としての保育士が、園児の健やかな成長を第一に考え、新たな取り組みにチャレンジができる環境を整備したいと思います。

有明：コミュニケーションの取り組み



賛育会 新評議員ごあいさつ ～就任から1年半を振り返って～

賛育会評議員：板崎 淑子さん

2021年1月、横浜YMCAでお世話になった島田茂理事より評議員にとのことのお勧めをいただいたことが貴法人との出会いでした。ちょうど前年に定年退職しておりましたので、時間的に余裕はありましたが、私に務まるかどうか不安ではありました。しかし、島田理事よりキリスト教保育をより充実していきたいとのことのお話もあり、私のわずかな保育経験が生かせればと思ってお受けしました。ちょうどコロナ禍であり、まだ各施設に伺ってはおりませんが、評議会やSEAPによって、「賛育会憲章・クレド」に沿った実践の様子を伺うことができ、何より私自身が多くの刺激を受けています。常に小さき者へのまなざしを大切に、新しい事業にも挑戦していく皆様の姿勢を心から応援しております。



賛育会評議員：塚本 文武さん

新評議員になりました塚本文武と申します。きっかけは私が大学3年、4年の時に過ごした東大YMCAの大先輩にあたり、また私が日本航空在籍時に仕事の面でも大変お世話になった岩見宣治兄にお声をかけて頂いたことにあります。日本航空定年退職後は横浜の知的障害者施設で多くの利用者さんと若い職員に囲まれ働いています。賛育会には一昨年6月の評議員会から参加させていただいておりますが、会議等を通じて賛育会がキリスト教精神に基づき多岐にわたる活動を実践されていることを知り感銘を受けています。具体的な貢献はまだ何もできておりませんが、民間会社での経験と福祉現場で培った実践力で微力ながら皆様のお手伝いをできればと考えています。宜しく願い申し上げます。



INFORMATION



イースターの メッセージ

日本キリスト教団鶴川教会は第二清風園を通して賛育会を支援してくださっています。同教会の瀬戸英治牧師にイースターのメッセージをいただきました。



二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

ルカによる福音書24章32節

「共にいてくださる神」日本キリスト教団 鶴川教会 牧師 瀬戸 英治

主イエス・キリストの復活をお祝いします。イースターはイエス・キリストの死から生き返られたことを祝うキリスト教にとって一番大切な行事です。上記の言葉は「エマオへの途上」という有名な物語の一部です。イエスが十字架上で殺された後、失意の中の弟子二人がエルサレムを去ろうと道を急いでいました。そこに見知らぬ人が同行することになります。そして絶望している二人に対して、その見知らぬ人が「聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明した」というのです。そして夜になり一緒に宿で夕食の時、讚美しパンを割いた瞬間に、二人はその人がイエスだと分かった。でもその時にはその人はいなくなっていたというお話です。「聖書全体にわたり、御自分について書かれていること」とは一体どのようなことだったのでしょうか？私は、神は苦しんでいるもの、小さくされたものの叫び声を聞き、そのものたちと共にいてくださるということだと考えています。イエスご自身も苦しめられ、十字架上で「わが神、わが神、どうして私を見捨てられるのですか」と絶望を告白し亡くなられました。神はその声をお聞きなられたからこそ、イエスを死から甦らせたのだと思います。神は苦しむもの、悲しむものと共におられる。まさしく「イムヌエル」(イザヤ書7章14節、マタイ1章23節)の神なのです。私たちは実に多様な人の人生に寄り添います。絶望、悲嘆、苦痛、悩みの中にある人々たちを見取ります。死が全ての終わりと思っている人々にでも、その死においても神が共にいてくださるという希望を伝えることができれば、少しでも心安らいでもらえると信じています。

SEAP2022入賞作品紹介

(San-ikukai Excellent Activities and Projects)
～調査研究・実践事例発表会～

各施設で実践されている貴重な取り組みを共有し賛育会全体の事業や活動のさらなる質の向上に向けた「SEAP2022」。今年は21作品がエントリーし、オンライン形式で発表会が開催され、審査の結果5作品が入賞しました。今回新たにオンライン視聴をされている方々の投票で決定する、サマリア賞(施設長賞)とからし種賞(職員特別賞)の2賞が設けられました。

《最優秀賞》

●多死時代における特養ホームの役割

～看取りケアの理念と専門職に求められる知識・技能～
第二清風園:奥津 亜季 高倉 美咲 宮野 文香
二瀬 えり 佐野 正子

《優秀賞》

●「わたしのノート」と機能訓練

～デイサービスでの活動が身体機能向上につながった例～
マイホーム新川:土屋 久美子 神崎 佑季

●在宅サービス Be Connected チームの発足

～事業所連携による面での地域支援を目指して～
東海事業所デイサービス:石原 剛 廣川 いくの 徳永 寛行

《サマリア賞(施設長賞)》

●Let's!いきいき活動 ～私の出来るが「う」プラン～
東京清風園:清和 綾子 武藤 貴代子 横山 絵梨

《からし種賞(職員特別賞)》

●多死時代における特養ホームの役割

～看取りケアの理念と専門職に求められる知識・技能～
第二清風園:奥津 亜季 高倉 美咲 宮野 文香
二瀬 えり 佐野 正子



ご支援の方法が便利に! 寄付・募金方法変更のお知らせ

「郵便振替」「現金での寄付」に加え、賛育会ホームページの専用サイトから「クレジットカード決済」で簡単にお手続きができるようになりました。

賛育会では、いのちの授業や子ども食堂、高齢者の居場所づくりなど、60を超える様々な地域支援活動を行っています。そして、これらの活動は皆様からのご寄付によって支えられています。災害や感染症の影響下での病院や高齢者施設、保育園の運営は大きな困難に直面しています。

隣人を愛し、ともに生きる精神でこれからも地域に寄り添い続けていくために、より多くのご支援をいただきたく寄付・募金方法の変更を行いました。引き続き、ご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

詳しくはこちらをご覧ください

賛育会ホームページ

「賛育会へのご支援のお願い」

(<https://www.san-ikukai.or.jp/participate/>)



主要人事

《施設長等人事》

〈退職〉

2023年3月31日付

法人事務局 総務部長 兼 財務部長 藤田 寿彦(定年退職)
はなみずきホーム 施設長 小林 利紀子(定年退職)

〈登用〉

2023年4月1日付

東京清風園 生活部長 伴 成顕 豊野清風園 施設長とする
法人事務局 総務課長 三好 健太郎 はなみずきホーム 施設長とする
法人事務局 人事部長 杉浦 広隆 法人事務局 総務部長兼務とする
法人事務局 賛育会病院担当部長 兼 新病院・新施設開設準備室室長 兼 賛育会病院 経営改革室長 遠矢 充宏 賛育会病院事業所 地域事業所 長兼務とする

東京清風園 施設長 赤荻 佐和 中央・墨田事業所 地域事業所長兼務とする
第二清風園 施設長 石田 悟 町田事業所 地域事業所長兼務とする
賛育会クリニック 事務長 兼 介護医療院とよの 事務長 兼 ゆたかの 事務長 森 佐知子 豊野事業所 地域事業所長兼務とする

東海清風園 施設長 兼 東海診療所 事務長 生井 知三 東海事業所 地域 事業所長兼務とする

〈異動〉

2022年4月1日付

豊野清風園 施設長兼豊野事業所事務センター長 堀家 世司 法人事務局 財務部長 兼 法人事務局直轄事業 地域事業所長とする

San-iku 通信

San-iku通信 Vol.35 2023年 春号

編集:賛育会法人事務局

発行人:中村 基信

発行所:社会福祉法人 賛育会

印刷:(有)エースプリント (20230310-7050)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL:03-3622-7614



社会福祉法人
賛育会